

上下水道工事業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時 間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8 ～ 9	場内路盤作業を行うため、仮設敷鉄板の搬出作業に取り掛かった。ワイヤーをバック ホーに掛け、吊り上げたところフックが外れ、被災者が作業半径内にいたため、左足骨 折及び右上腕負傷をした。	64	50 ～ 99
1	16 ～ 17	新工業資材置場にて、資材の管理を行っていた際、水道管材料を整理していたとき、ク レーンに地切りの際に荷がからまり、除けきれずに当たってしまい、左手小指を巻き込 みケガをした。	39	1 ～ 9
4	14 ～ 15	下水道管埋設工事中において、山留め材（矢板）を地上から地下3mへおろす作業で、 地上の作業員と地下の被災者とのタイミングが合わず、矢板が被災者の肩から胸に直撃 した。	59	10 ～ 29
7	13 ～ 14	自社置場で置場片付け・整理・洗車等を行っている際に、置き場に置いてあった鋼材が 邪魔だったのでユニック車で移動する際に、鋼材の所で合図をしていたときに右母趾を 挟まれ、骨折した。	27	30 ～ 49
10	13 ～ 14	事故発生現場においてφ150mm配水管の接続工を予定しており、既配管への接続箇所 および配管箇所を掘削し、断水作業が完了したので既配管の切断をエンジンカッターで 開始した。切断部1の切断を他の作業員が80%ほど進め、管内の残水を放流しながら、 切断部2の箇所を被災者がエンジンカッターを使って切断を始め80%ほど切断したとこ ろで、エンジンカッターがはね返り、顔面（顔付近）に直撃し負傷した。	18	1 ～ 9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html